

都市再生整備計画 事後評価シート
神栖地域中心市街地地区

令和2年3月

茨城県神栖市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県		市町村名	神栖市		地区名	神栖地域中心市街地地区			面積	578ha		
交付期間	平成26年度～平成30年度		事後評価実施時期	令和元年度		交付対象事業費	10,670百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】県道粟生木崎線・市道8-1719号線 【公園】(仮称)神栖中央公園防災アリーナ 【地域生活基盤施設】(仮称)土研跡木崎広場, 国道124号沿道案内板設置, 息栖小体育館耐震化(耐震補強), 神栖二中体育館及び武道場耐震化(耐震補強), (仮称)神栖中央公園防災アリーナ, 【高次都市施設】(仮称)神栖中央公園防災アリーナ										
		提案事業	【まちづくり活動推進事業】防災公園PR活動, 防災訓練の実施										
	事業名			削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	当初計画から削除した事業	基幹事業											
		提案事業											
新たに追加した事業	基幹事業												
	提案事業												
交付期間の変更	当初	変更		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	防災機能を備えた屋内避難所ができることに対する安心度	%	0	26	74.3	30		53	△	あり なし	かみず防災アリーナがオープンして3ヶ月経過時に計測した指標値においては目標値を達成できなかった。オープンから間もない現在においてはアリーナの防災拠点としての市民の認識度が目標値より低い水準になっている。今後アリーナの防災機能を防災訓練等を通して市民へ周知していくことで改善をはかっていきたい。	-
	指標2	公共施設の耐震化率	%	94.2	26	100	30		100	○	あり なし	事業区域内の公共施設の耐震化工事を完了することができた。	-
	指標3	防災訓練の実施回数	回	0	26	2	30		2	○	あり なし	整備期間内に防災公園内で避難訓練を1回実施した。令和元年11月に2回目の防災訓練を実施し、目標回数に達した。	-
指標4										あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況									
	モニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	持続的なまちづくり体制の構築			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
			今後の対応方針等										

神栖地域中心市街地地区(茨城県神栖市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標 うるおいと安らぎ、安全・安心を兼ね備えた中心市街地の形成 小目標① 地域の防災拠点となるアリーナの整備により、災害に強いまちづくりを推進する。 小目標② 公共施設の耐震化を図り、災害時に市民等を守る、安全な避難場所を確保する。 小目標③ 安心して暮らせる生活環境を創出し、都市機能の維持と更なる活力の増進を図る。	防災機能を備えた屋内避難所ができることに対する安心度	単位：% 0 H26 74	H30 53	R1
	公共施設の耐震化率	単位：% 94 H26 100	H30 100	H30
	防災訓練の実施回数	単位：回 0 H26 2	H30 2	R1
		単位： 単位：		

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 課題1: 災害時の避難所機能及び屋内に求められる救援救護活動スペース等の機能を確保した防災拠点の整備(PFI事業)→中心市街地に防災機能を備えた屋内拠点施設としてかみす防災アリーナの整備ができた。 課題2: (仮称)土研跡木崎広場の用地取得、整備→公園として木崎広場の整備により、既存の神栖中央公園のとの一体的な利用が図られ、多くの人が集まる賑わい、憩いの場が生まれる区域となった。 課題3: 災害時の避難所となる公共施設の耐震性の確保→息栖小学校及び神栖第二中学校の体育館の耐震化工事が完了し、避難場所となる公共施設の耐震性が確保された。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 新たに整備されたかみす防災アリーナが供用開始となり、今後は防災意識の普及、知識の啓発が必要である。

事後評価委員会(令和元年11月29日開催) 委員質問事項

箇所番号	委員の意見	回答
様式2-2	評価値の具体的な数字を教えてください。及びフォローアップの必要性なしとした根拠を教えてください。	評価値につきましては資料3-2の説明の際に回答します。フォローアップに関しては未達成の目標について1年以内に達成が見込まれる場合に実施する必要があり今回は該当しません。
様式2-2	避難場所という観点で、神栖市は海と、川にはさまれていて、避難所が浸水区域だったりする所はないのでしょうか。ハザードマップの見直しをする必要があるのではないのでしょうか。	市独自ではハザードマップの見直しはできません。市町村、県、国が一体となって、国が雨量等の計算をしたうえで、市がそれを元に作成していく、高低差等を確認しながら、堤防等が決壊した場合を想定しながら行います。国の方で見直しを行う段階で、完了後にそれを反映させていきます。なお、平成30年に津波ハザードマップの見直しを行いました。もちろん地球温暖化も相まって台風も大型化してくるだろうということでハザードマップの見直し、避難の周知をしていく必要はあると思います。しかし、それには確かなデータが必要になってきます。それを待っている状況です。
その他	アリーナの現在の稼働状況を教えてください。	事業者からの7-9月期の第二四半期の報告から引用しますと、7-9月間で利用者数は右肩上がりです。3か月間合計で、72,444人となっております。団体利用では、メインアリーナで全日本卓球選手権大会ジュニアの部東地区予選会、東地区高体連卓球専門部、民間企業レクリエーション祭、B.LEAGUE2019-20 プレシーズンゲーム、第74回ランドゴルフ競技会開会式会場、第10回かみず舞っちゃげ祭り2019などが開催されています。また、音楽ホールでフラダンス発表会、神栖二中吹奏学部吹奏楽演奏会、ピアノデュオコンサート、第10回かみず舞っちゃげ祭り2019が開催されています。教室利用では、水泳、ヨガ等の大人、子供向けの教室を週77教室開催し、9月末時点で1,003名の在籍人数になります。地域貢献事業では、神栖一中の職場体験の受け入れや、息栖小学校の施設見学なども行っております。神栖四中の水泳授業の受け入れを9月17日(火)の休館日で行っております。
様式2-2	台風などの災害が強化する時代に、神栖市のシンボリックな防災施設として多額の予算が投入されて完成した防災施設で想定を超える風雨に耐えられずアクセシビリティが低下してしまいました。原因の究明・市民への説明再発防止が求められます。神栖市における都市再生整備計画事業が継続的に行われるのであれば、第2期計画として交付対象事業として中心市街地の一部について、電線の地中化について検討すべきではないでしょうか。先の台風15号では、約2千本の電柱が損壊しました。災害発生時に重要な役割がある道路が倒壊した電柱によって交通マヒに陥ります。東日本大震災においても、多くの電柱が倒壊や損壊したことは周知の事実です。電柱とは風速40メートルの強風を想定して製作されていますが、今後もスーパー台風の襲来を想定しておかなければなりません。海抜の問題や様々な課題があり、加えて1kmあたり5億円とも言われる費用の面など山積する課題はありますが、国・自治体・電力会社に加えて地元企業や各種団体が一丸となって電線の地中化を推進していったら良いと考えます。国道124号の一部の三車線化は実現しましたが、多くの電柱によって景観も損なわれています。防災アリーナへの避難経路を整備するという観点で、第2期計画「硬質空間形成施設＝電線類地下埋設施設」構想を提案するものです。	防災施設で想定を超える風雨に耐えられずアクセシビリティが低下してしまいました。原因の究明・市民への説明再発防止が求められます。 一 台風15号の襲来時における気象台の発表によりますと、銚子市において瞬間最大風速40.4m/s、また鹿嶋市において36.6m/sの風が吹いていた状況でした。 このような強い風を受け、屋根に当たった風が屋根に沿って上昇したため、屋根材が引っ張られ、上に持ち上げる力が発生したのではないかと推測されます。 ガラスについては、屋上部分の明かり取り窓に剥離した屋根材が当たり破損したものです。 かみず防災アリーナは、災害時の避難所や防災拠点として対応しなければならぬことから、今回のアリーナの台風による被害については、危機感を抱いております。 市としては、二度とこのような事が繰り返されることのないようPFI事業者へ申し入れをし、承諾を得たところでございます。引き続き、市民の安全・安心を確保するため、災害対応に取組んでまいります。 第2期計画「硬質空間形成施設＝電線類地下埋設施設」構想を提案するものです。 一都市再生整備計画につきましては、今回が2期目に該当し終了となります。ご提案の構想につきましては、今後の市政において議論されていくべき内容であると思いますが、今回の会議においての議論はお控えさせていただきたいと思っております。
様式2-1 指標1	防災アリーナの開設以来、週数回ジムやプール利用のために、同アリーナに通っているが、アリーナのどこがどのように防災拠点として利用できるのか、具体的に認識できていない。アリーナでの防災訓練に参加できれば、認識度は高まるだろうが、参加できない市民のためにどのような方策があるのか検討の余地がある。	現在、神栖中央公園とかみず防災アリーナの防災機能を掲載したパンフレットを今年度作成すべく準備を進めております。つきましては、このパンフレットをもって周知を図って行きたいと考えております。

神栖地域中心市街地地区整備(二期)事後評価(案)に関するパブリックコメント
主な意見と市の考え方

1 意見募集期間 令和元年10月15日(火)～11月18日(月)

2 意見提出者数及び意見等件数

意見者数 1名
意見等件数 10件

3 意見の内容と市の考え方

NO.	箇所番号	意見の内容	市の考え方
1	様式2-1、指標	今後、防災訓練等を通して市民にかみず防災アリーナ周知していくとなっておりますが、11月に予定される防災訓練は地域が限られた一部の防災訓練となっております。市民全体の周知になっていません。	今回の防災訓練につきましては、津波避難を想定した訓練であり徒歩で避難できる地域を対象に実施したものでございます。また、かみず防災アリーナの周知については、広報紙や防災訓練・防災講演会等とおし引き続き周知を図ってまいります。
2	様式2-1、指標1	かみず防災アリーナ避難所として最新の機能があります。地区限定の避難所として開設するだけでなく、神栖市全体の避難所として開設して市民への周知を図ってほしい。	かみず防災アリーナは防災における拠点施設として考えております。アリーナへの一時避難につきましては、近隣地域が対象となりますが、中長期避難については市内全体を対象とした対応を図ってまいりたいと考えておりますので、広報紙や防災訓練・防災講演会等とおし引き続き周知を図ってまいります。
3	様式2-1、指標1	事前にアンケートを取っていますがアンケートの結果が公表されていません。	アンケートの結果につきましては事後評価シート資料2-1の指標1に反映されておりますが、その他の項目についても公表を検討したいと思います。
4	様式2-2	案内看板は当初3箇所を予定していました。今回は1箇所だけになっています。市民・市民以外の周知のためにも、計画通りの看板設置をお願いします。	当初の計画位置とは異なりますが、現状は区域外を含めて2箇所設置されております。また県道粟生、木崎線側にも一箇所設置予定でしたが、下水道工事が今後見込まれるため、設置を見送っております。
5	様式2-2	平成29年に公共サインの設置基準を改定しているが、アリーナの誘導看板はその基準に適合しているのか。P9に設置場所についての記載がある。	既に設置済みの2箇所の誘導サインについて配置基準及び設置基準に適合していると認識しています。今後、新たな看板設置につきましては協議、検討していく必要があります。
6	様式2-1	かみず防災アリーナ及び神栖中央公園には避難所の看板がどこにもありません。避難所のマーク(絵)だけでは市民の周知になっていません。	
7	様式2-1	神栖中央公園の外周歩道で124号線の電柱に避難所の案内が大野原コミュニティセンターになっています。避難所の看板の見直しが必要と思います。	かみず防災アリーナの避難所看板については、今年度、「指定緊急避難場所」及び「指定避難所」を示す看板を設置します。 ※「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定」につきましては、水害時に他市からの避難者の受け入れ先として、神栖第四中学校と平泉コミュニティーセンターを指定しております。かみず防災アリーナについては、現段階で同協定に基づく避難所にする予定はありませんが、他市町村の要請等考慮しながら、将来的な指定につきましては検討の余地はあると思います。
8	様式2-2	かみず防災アリーナは広域避難所(市外から受け入れ)の機能がありますが、この避難所の周知や看板設置がありません。 ※広域避難所の根拠は都市再生整備計画に記載のある「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定」より	
9	様式2-1	木崎広場は駐車場となっておりますが、かみず防災アリーナ建設時の工事関係者の駐車場として使われず、アリーナ東側の多目的広場を6か月間使用したため市民がこの広場を使えませんでした。かみず防災アリーナの小さなイベント時に木崎広場の駐車場を使わずに、多目的広場を駐車場として利用していました。この木崎広場の駐車場が有効に利用されていません。	今後、小規模なイベントに関しましては原則として多目的広場に優先して木崎広場を駐車場として利用する方針です。
10	様式2-1	かみず防災アリーナは台風15号で屋根やガラスに被害が発生したと聞いています。今後予想されるスーパー台風発生時に避難所としての機能があるのでしょうか。	かみず防災アリーナについては、地域の防災拠点施設として機能するよう、指定管理者と協力しながら、引き続き市民の安全・安心の確保に努めます。

アンケート意見抜粋

NO	意見	回答
1	津波がきたとき防災アリーナに避難して大丈夫なのか不安。	神栖市津波ハザードマップにおける想定におきましてはかみす防災アリーナの位置は浸水エリア外となっております。
2	台風15号のとき利用できなかったのが残念でした。	当施設では台風15号の影響により、屋根材の一部破損や防水シートの破れがあり、館内各所で雨漏りの被害が発生するなど、施設が被害を受けたため、被害状況の確認及びその対応、安全確認等を行うため、朝から臨時休館としておりました。今後、再発防止に努めてまいります。
3	ガラスが多いので、地震のとき割れないか不安です。	前面の公園との一体化、採光による照明消費電力の低減、冬期の暖房負荷の削減を図るとともに、自然採光を積極的に取り入れ、災害時における快適な避難所の環境を図るために整備したものであります。また、窓ガラス等の部材については、「官庁施設の総合耐震計画基準」を上回る安全性を確保しているものであり、飛散防止フィルム等により、更に安全性を高めるものとなっております。
4	定期的に訓練を実施したり、住民へのアナウンスをしたりして、災害時住民が落ちついて行動できるように周知してほしいです。	今年11月に神栖中央公園、かみす防災アリーナにおいて、防災訓練を実施しました。今後も訓練等をとおして住民への周知をしてまいります。
5	大規模停電が発生した場合の電源はどうなっているのか。自家発電設備がある場合は何日くらいもつのか。	かみす防災アリーナ内に自家発電設備を備えており、72時間の稼働が可能です。
6	救急病院へ運搬するためのドクターヘリの着陸施設を設けていただきたい。	神栖中央公園の芝生広場の一部をドクターヘリの離着陸場として使用しております。
7	避難時にどれくらいの人数が避難できるのか。	一時避難に10,000人、中長期避難で2,000人の避難者を想定しております。
8	防災機能のPR不足	今後、ホームページ、広報紙や防災訓練・防災講演会等をとおし防災機能の周知に努めてまいります。現在、神栖中央公園とかみす防災アリーナの防災機能を掲載したパンフレットを今年度作成すべく準備を進めております。つきましては、このパンフレットをもって周知を図って行きたいと考えております。

アンケート集計結果 (総配布枚数 2,884通 回答数 522通)

問1	性別	男性	女性	無回答	合計									
		211	254	57	522									
	割合(%)	40.42	48.66	10.92	100									
	年齢	19以下	20	30	40	50	60	70以上	無回答	合計				
		13	31	61	100	106	100	108	3	522				
	割合(%)	2.49	5.94	11.69	19.16	20.31	19.16	20.69	0.57	100				
行政区	溝口	泉町	木崎	神栖	新港	大野原	深芝	浜松	息栖原	その他	市外	無回答	合計	
	113	8	86	80	6	113	47	3	2	28	15	21	522	
割合(%)	21.65	1.53	16.48	15.33	1.15	21.65	9.00	0.57	0.38	5.36	2.87	4.02	100	

問2 現在、あなたは地震、津波、台風等の災害に関して不安を感じていますか。

問2	不安	やや不安	あまり不安ではない	不安ではない	無回答	合計(無回答除く)
	237	201	63	17	4	518
割合(%)	45.75	38.80	12.16	3.28		100

問3 かみす防災アリーナは災害時(地震、津波、台風等)において避難所や防災拠点としての役割が期待できる施設だと思いますか。

問3	期待	やや期待	どちらともいえない	あまり期待できない	期待できない	合計	満足度(期待+やや期待)
	115	162	93	98	54	522	277
割合(%)	22.03	31.03	17.82	18.77	10.34	100	53.07

問4 問3で「あまり期待できない」「期待できない」と答えた方にお尋ねします。期待できない理由を以下の選択肢よりお選び下さい。

問4	避難人数が少ない	災害時の施設利用形態イメージ出来ない	判断する情報が少ない	駐車場が少ない	建物が不安である	防災機能が不十分	避難所運営が適切になされるか不安だ	その他
	41	95	61	44	34	31	71	58
割合(%)	26.97	62.50	40.13	28.95	22.37	20.39	46.71	